

科目名	コミュニケーション論 (Communication Studies)			科目コード	129
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	看①③, 臨①②
担当教員	仲渡 江美				
授業概要	人間関係の一般的なあり方や、看護場面での専門的な援助関係の基礎について、グループワークを交えて講義を進めていく。それにより、医療現場や日常の人間関係における言語的・非言語的コミュニケーションの役割について、理解を深める学びにつなげていく。またディベートを実践し、議論を行う上で必要となる能力を向上させていく。				
授業目標	人間関係の基礎となる言語的・非言語的コミュニケーションの特徴や医療コミュニケーションの基礎知識について学ぶ。また、さまざまな手段・方法を用いて他者とのコミュニケーションを体験的に学習する。自己主張と他者理解を深め、効果的なコミュニケーションについての理解を深める。				

授業計画

回	項目	内容
1	コミュニケーションとは	言語的・非言語的コミュニケーション
2	コミュニケーションと人間関係 (1)	顔からのコミュニケーション
3	コミュニケーションと人間関係 (2)	表情からのコミュニケーション
4	コミュニケーションと人間関係 (3)	感情と向き合う、感情に寄り添う、気持ちマップ
5	コミュニケーションと人間関係 (4)	男女間のコミュニケーションのギャップ
6	コミュニケーションと人間関係 (5)	価値観のワーク
7	コミュニケーションと人間関係 (6)	ジョハリの窓による自己理解 (自己開示, 自己呈示)
8	コミュニケーション・スキルの発展 (1)	ディベートについて (1)
9	コミュニケーション・スキルの発展 (2)	ディベートについて (2)
10	コミュニケーション・スキルの発展 (3)	ディベート実践 (1)
11	コミュニケーション・スキルの発展 (4)	ディベート実践 (2)
12	コミュニケーション・スキルの向上 (1)	医療コミュニケーションとは
13	コミュニケーション・スキルの向上 (2)	医療コミュニケーションの基本的なスキル: 傾聴と共感
14	コミュニケーション・スキルの向上 (3)	アサーションの理論と技法
15	職場のコミュニケーション	メンタルヘルス, アンガーマネジメント
成績評価方法	毎授業のワークシート・リアクションペーパー (60%)、ディベート (20%)、期末レポート (20%)。授業計画を含め、詳細は授業第 1 回目に説明する。	
教科書	テキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。	
参考図書等	適宜紹介する。	
授業時間外の学習について	ディベートの際には、予習として、立論や主張・反論に関する根拠となる情報収集を行う (2時間)。	
関連科目	受講する上で必要となる基礎科目: 128 心理学	
備考		